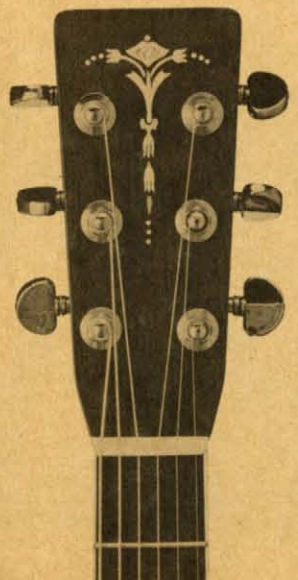
the Care & Feeding of your guitars.

どんな高級なギターでも、不注意に扱ったり放っておけば寿命は縮まります。ギターが何によって影響を受けるかをよく知って大切に取扱って下されば、何世代にも亘ってギターを楽しむことができます。

弦にビビリを生じたら‥

1. **ネックが逆ぞりしてフレットに弦があたる場合**
   ●アジャスタブル・ロッド(ボディ内のネック部分)をゆるめて、12フレットで弦高を3.3㎜に合わせます。
   (100円玉+10円玉=3.2㎜)
2. **ネックは正常だが、ブリッジが低すぎてフレットに弦があたる場合**
3. **ネックの中の鉄芯がはずれて、これが振動してビビリが起きた場合**
4. **ネックもブリッジも正常だが、フレットが浮いてきて、弦があたる場合**
   ●2〜4の調整は、かなりデリケートな作業ですので、専門家に依頼することをお奨めします。
5. **弦が不良、もしくは古い場合**
   ●弦の張り換えをします。この時、音のバランスを保つために1セットそっくり換えることをお奨めします。その際、ネックの張力を一定に保つため6本全部を一度にはずさないで、1本ずつ換えて下さい。



弦の正しい張り方

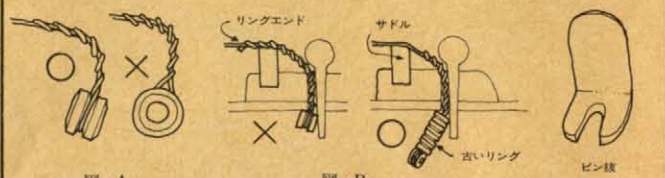
●ブリッジ側(正しい弦の止め方)

弦のリング側の端を軽く曲げた上でホールに入れ、ストリングピンを軽く差し込みます。この時、弦をホールの溝に、はまるようにすると抜けません。

Ⓐ…弦のリング側を軽く曲げる時、図・Aにあるようにリングが抵抗になるような方向に曲げて下さい。

Ⓑリングエンドの巻きが長すぎてサドルにかかる場合は、使用済の弦のリングを図・Bのように使って下さい。

Ⓒ…ストリングピンがかたく締って取れない時、ペンチやニッパーを使いますとピンやブリッジを傷めます。楽器店でピン抜きをお求めの上、大事に抜き取って下さい。



図・A　図・B

●弦巻側(正しい弦の巻き方)

①弦巻き穴に通した弦は図・C のように高音弦(1〜3弦)は右巻き、低音弦(4〜6弦)は左巻きにし、や、張り気味にした状態で半回転させます。

②弦の端を巻き込みと逆の方向に戻し、図・D のように張られた弦の下をくぐらせ上に持ち上げながら弦とポストの間に、はさみ込みそのま、巻き込みます。こうしますと弦のスリップをなくし、チューニングのズレを防ぎ、巻き数を少なくすることができます。

③弦を徐々にポストの下側へ巻き込み、標準のピッチまで張って下さい。最後に弦の端をポストから5〜10㎜の所をニッパーで切り、安全のために切り口を曲げておいて下さい。(図・E)

★貴方のギターケースの中にラジオペンチを用意しておけば大変重宝します。

図・C　図・D　図・E

弦が切れるのは‥‥‥

●弦が古くなりサビた時

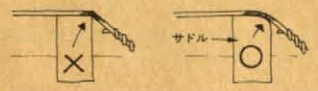
どんなに良い弦でも音色がそれほど変化せずに弾くことが出来る時間は、演奏時間に換算して延25時間とされています。常に良い音を楽しむ為には、出来るだけこまめに張り換えることをお奨めします。

●ストリングポストの所で切れる時

この部分で切れるのは、ほとんど弦をゆるめる時です。1週間以上弾かない状態がつづく場合を除いて、弦の張力はひんぱんに変えない方が、弦やネックを傷めないためにも良いようです。もしゆるめる場合には、1音分程度にとどめて下さい。

●サドルの型状が悪い場合

弦との接地角度がつきすぎているサドルは、1000番くらいの紙ヤスリで丸く削りゆるやかにします。



そして、ここに思いやりを‥‥‥

●できるだけ直射日光の当らない、風通しの良い湿気の少ない所に置いて下さい。

●手の脂や汚れは弦の寿命を縮めます。弾いた後は、本体と弦の汚れを拭き取る習慣を——。

●ギターは持ち運ぶ機会の多い楽器です。車に乗せる時には、振動の少ない座席に。また飛行機の場合は貴重品を身につけるように、あなたと一緒に機内へ入れて手元において下さい。温度の変化や振動から守ります。

価値ある証し‥‥‥クラッキング

すべてのマーティン・ギター(キャッツアイではCE−2000S)は、フレンチ・ラッカー・ポリッシュと呼ばれる最高品質のラッカー塗装が、伝統的手法によってほどこされています。ラッカーはその特性として、温度や湿度の変化によって塗装面に、モザイク状のヒビ割れが出来る事があります。しかし、これはギターそのものを傷めるものではなく、むしろ良い音質を得る為の"当然の証し"なのです。

最後に‥‥‥

ギターの取扱い、手入れ等は念入りであるほど良いことですが、弾く場合には、考えを少し変えて下さい。どんなに高価なギターでも、完成して数年の間はコンディションが日々変化しています。また単板で出来ているギターは何年も弾き込んだギターに比べ、板自体に弾力性がありません。そのようなギターを良い音のするギターに育てるのです。それには新しい時点で、思い切り弾くことです。そしてネックの調整その他はギターの安定期に入ってからの方が良いでしょう。

ご注意!!

東海楽器は、マーティン・ギターの日本における販売総代理店であると共に、極東サービスセンターに指定されています。
修理は、フレットから塗装にいたるまで、すべて純正部品を使用し、これらのマーティン・ギターには全機種、同和火災海上保険㈱による総合保険が付けられておりますので、お買上げの際には必らず保険申込書、愛用者カードを御確認の上、お求め下さい。

※上記の必要書類が添付されていないギターに関しては、弊社における一切の責任を負いかねます。